



令和2年度(2020年度)学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく未来を切り拓く生徒の育成

校訓【自主・友愛・健康】

玉名市立天水中学校だより 第14号

実りの秋にふさわしい10月です。まずは後期始業式【10月13日】

4人の生徒さんによる意見発表とそれらに対するフロアーからの返しの言葉がありました。どれもが前期の振り返りを活かし、後期に向けての前向きな姿勢を誓う言葉でした。それらには大いなる頼もしさが感じられました。こんな天水中生なら、きっと実現してくれるだろうと期待が持てます。

天水中校区「熊本の学びスタート・アップ研修会」【10月14日】

玉水小学校、小天小学校と合同で、県教育庁市町村教育局義務教育課から1人、玉名教育事務所から2人の指導主事に来ていただいて実施しました。中学校においては来年度からの新学習指導要領全面实施に際して、新しい教科書を使ってさらなる授業改善に励む必要があります。熊本県独自の学習構想案を作成し、検証授業を通じた取組の充実により児童生徒の確かな学力保障につないでいく決意を新たにしました。



女子9位、男子14位

——玉名荒尾中体連駅伝大会【10月21日】

短い練習期間を活かし、本年度の貴重な学校対抗の機会に、本校を代表するアスリートとして集中力とスピードで襷をつなぎました。

〈こころづかい〉が見える合唱コンクール【10月23日】ーに際して話したこと

(前略) 聴くという字の旧字体は「聽」と書きます。これはまっすぐな心で聴く。人は十分に目を使って相手を見て、一心に聴くことが大切だということです。相手の言葉に、誠実に耳を傾けることが大事です。合唱の歌声に気持ちを集中させて聴きましょう。

ここで宮澤章二さんという人の詩を紹介します。(右記)

この詩に習えば、指揮者の指先に、背中に、伴奏者の腕に、肩に、歌っているあなたの全身に、それぞれの〈こころづかい〉が見えます。聴く人の心に届けられる、そんな合唱にしてほしいです。合唱づくりは、学級・学年づくりと言われます。私はさらに学校づくりだと思います。これまでの練習で心をひとつにして作りあげてきた合唱を聴かせてください。

行為の意味

——あなたの〈こころ〉はどんな形ですか
とひとに聞かれても答えようがない
自分にも他人にも〈こころ〉は見えない
けれど ほんとうに見えないのであろうか
確かに〈こころ〉はだれにも見えない
けれど〈こころづかい〉は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の〈思い〉は見えない
けれど〈思いやり〉はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為なのだから
あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
〈心〉も〈思い〉も 初めて美しく生きる
——それは 人が人として生きることだ